

特集：大学説明会

学生による大学説明 ―学生宿舎・アパート生活の紹介―

佐藤 瑛生（筑波大学 生物学類 2 年）

筑波大学に入学して一人暮らしを始めようとするなら、学生宿舎に入るか、アパートに入るか、そのどちらかになると思います。そこで、ここでは双方を比較して紹介したいと思います。

まず、生活費についてです。2010 年度入居当時、宿舎の家賃は年間で¥1,190,080 でした。ガス代・水道代は無料で、電気代も格安なので、これだけ払ってしまえば、最悪あとは食費だけあれば生活していけます。また、生物学類で勉強するならインターネット環境は必須だと思いますが、宿舎はインターネットも使い放題なので、好きなときにレポートの調べものとかができます。結論、安いです。一方のアパートですが、大学付近の物件だと、家賃は月額 2 万円台から 5 万円台位になるそうですが、安いところは環境もそれなりで、多くの学生は 3 万円台〜くらいの物件を選ぶそうです。当然その他に、光熱費も掛かりますし、インターネットの契約もするならば、さらに負担が増えるでしょう。

次に、設備について紹介します。宿舎では、台所、トイレ、風呂、洗濯機が共用です。トイレに行く度に部屋を出なければいけないというのは結構メンドクサイです。また、風呂には時間制限があるので、間に合わなかったらアパートの友達にシャワーを借りに行くなどしなくてはなりません。また部屋があまり広くないので、収納のスペース造りに腐心することになります。一方のアパートですが、設備を一人で使えるので好きなときに炊事、洗濯ができ、トイレ、風呂が使えます。また人によって違いますが、基本、宿舎より広いので、多くの友達を呼んだり、泊めたりすることもできます。しかし広い分、当然、掃除は宿舎より手が掛かります。宿舎では共用設備も掃除しなくて良い事を考えると、この差は結構大きいかもしれません。

その他、アパートは人に依って様々でしょうが、とりあえず宿舎は大学に近いです。1 限は 8 : 40 からですが、寝坊して 8 : 30 に起きても、朝飯抜けば間に合うぐらいです（笑）。

あと、宿舎は友達ができやすい、とよく言われます。多くの学生が共同生活しているので、同じ学類性はもちろん、授業等に関わりを持たない他学類の人とも親しくなれるというのは利点として大きいのではないのでしょうか。

ただし、夏季の宿舎の湿気は結構すごくて、真偽は定かではありませんが、机の上に置いておいた書類がぐちゃぐちゃになっていた、なんていう逸話が残っているぐらいです（苦笑）。エアコンが効いてる友達のアパートに逃げ込みたくなります。

結局のところ、宿舎とアパート、どちらを選ぶかというのは、安く手軽に暮らしたいなら宿舎、多少費用と手間が掛かっても快適に暮らしたいならアパート、といったところではないでしょうか。条件を吟味して自分にあった選択をして下さい。どちらを選んでみてもきっと楽しい新生活が待っていることでしょう。

Communicated by Takeo Hama, Received August 25, 2010.